

西ヶ原・滝野川地区密集事業

平成17年度から導入されている密集事業について、更なる事業促進に向け、国や東京都に事業期間の延伸や対象地区の拡大を求め、一定の成果を出すことができました。

1. (仮称) 滝野川一丁目児童遊園整備

今年度、取得した用地(滝野川1-32)について、区では防災まちづくりに必要な児童遊園の整備に向けて、周辺住民や自治会の方々にご意見を伺いながら進める、ワークショップ方式で検討を行っています。今年度は2回のワークショップが開催され、設備についてなど意見が出され、設計案に反映されました。来年度は基本設計と利用についてのルールなどが協議されます。



2. 防災生活道路3号線拡幅

谷田川通りとみんなの公園をつなぐ道として大きな役割を担う防災生活道路3号線。今年度は西ヶ原小学校のリフレッシュ工事に合わせ、3号線部分(西ヶ原小学校脇)の拡幅工事が進められました。地権者の皆様のご協力のもと、道路拡幅を推進するだけでなく、電柱の地中化についても、区や関係機関に求めて参ります。

3. 旧全印刷会館向かい、印刷局駐車場(西ヶ原3-59)用地

これまで密集事業範囲外であったこの土地について、周辺の密集度を鑑み、事業対象地域とし、今年度は広場づくりの用地として土地取得に向け、北区は印刷局との協議を行いました。早期取得と整備に向け、引き続き区に要望して参ります。

整備地区計画図

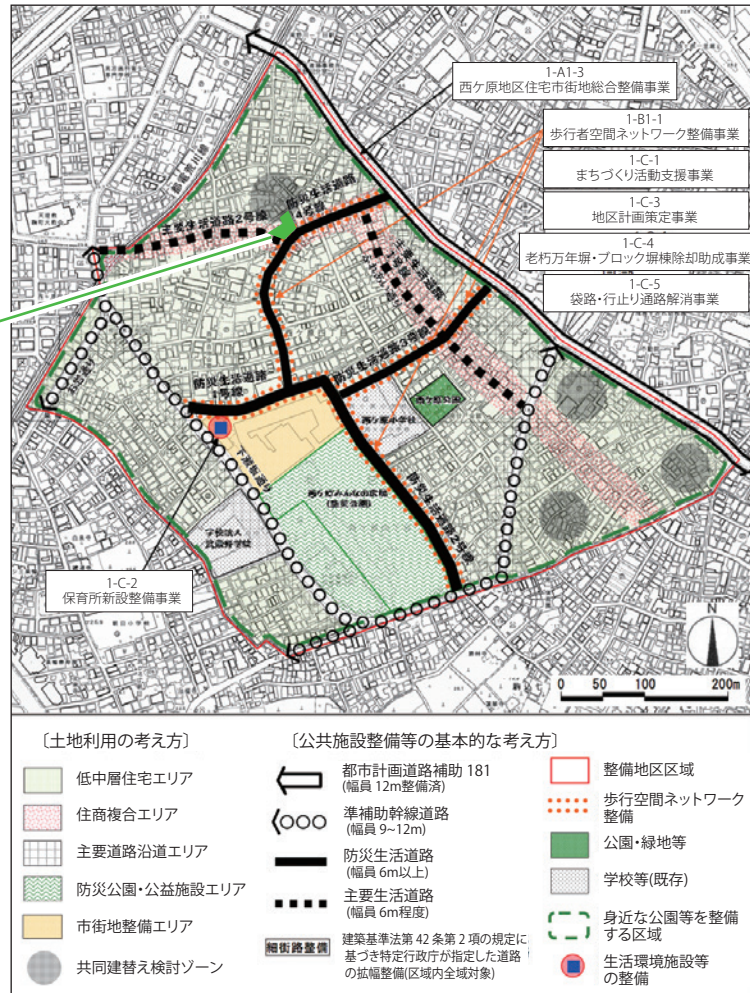
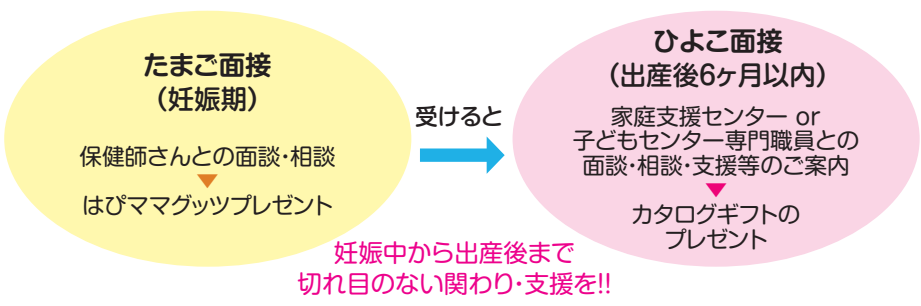


Table with 2 columns: [土地利用の考え方] and [公共施設整備等の基本的な考え方]. It lists various land use types and public facility improvement measures with corresponding symbols.

出産・子育て応援団事業 「はぴママ・きたく」

東京都の出産子育て応援事業・ゆりかご・とうきょう事業の補助事業を活用して平成28年1月から北区は出産・子育て応援団事業「はぴママ・きたく」を実施します。これは妊娠から子育て期に渡り安心して過ごせるよう妊娠からの切れ目のない支援を目的としています。内容は妊娠中と出産後6ヶ月までの間に区の保健師さんや家庭支援センターの職員と面談をし、個別に妊娠や出産の相談ができる。また更に面談後は育児に必要なもののプレゼント(合計1万円相当)が受けられる。というものです。



これまで、本会議質問や委員会等で少子化対策、子育て支援として、妊娠出産から子育てまで切れ目のない支援の必要性について訴え、提案し、議論してきた事を考えますと、「妊娠からの切れ目のない支援」として行政が認識し、政策として位置づけられたことは大変うれしく思います。

妊娠支援、出産前の妊娠から出産までの支援や関わり、母子ともにとても大切な時期となる、乳幼児期の支援や環境づくり、そしてそれらの支援が縦割りの支援ではなく、繋がりのある切れ目のない支援として制度化される事が重要です。区は様々な子育て支援事業をこれまでも行って参ります。更にこれらの事業が充実し、北区で子育てして良かった、子育てしやすい、もう一人子どもが欲しいと思ってもらえるよう、「子育てするなら北区が一番」の実現に向け、自らの体験も活かしながら、切れ目のない、特色ある子育て支援を提案していきたいと思っております。



2020年東京オリンピック・パラリンピックを成功させる 北区議会議員連盟

北区議会は7月2日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の寄与と、オリンピック・パラリンピックを契機とした北区のPRと更なる発展に向け、調査、研究、広報や関係期間に要望・支援を行う事を目的に設立されました。自民党議員団12名と他各会派議員合わせて31名で構成されています。ナショナルトレーニングセンターなどを抱える北区にとって、オリンピック・パラリンピック大会開催は北区の産業や観光他、様々な分野で発展できる大きなチャンスです。区議会も北区と連携、協力し、北区の発展に向け努力してまいります!



ご相談ください

まちづくり、子育て、介護、経営...などなど、様々なご相談、ご要望を頂いております。皆様のお声を今後の区政運営、制度づくりに繋げてまいります。



区民の期待へ決意を新たに 政策実行力の自民党議員団